

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 15 日

事務事業名		社会を明るくする運動事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	060201000440	
						単独/補助	単独		030101	
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	市民課	
総合計画の施策名		0602 人権尊重のまちづくり						課長名		
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						グループ	人権啓発推進室	
施策名		02 人権尊重のまちづくり						担当者名		
手段名		01 ①人権意識の啓発								
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	03	01	10	02	00	人権啓発対策事業			
法令根拠		犯罪予防法・保護司法				事業期間		単年度繰返し (年度~)		
								☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
90【事務事業の内容】 保護司会・更生保護女性会など関係団体で桜川市社会を明るくする運動推進委員会を組織し毎年7月を強調月間とし、啓発活動を展開する。活動内容は市内高等学校3校(茨城県立真壁高等学校、茨城県立岩瀬高等学校、私立岩瀬日本大学高等学校)に啓発品を配布、街頭キャンペーンを市内3ヶ所(カスミ岩瀬店、ストッカー、たいらや前)で実施。 また、のぼり旗を設置(市内11ヶ所)、小中学校ではあいさつ運動や社会を明るくする運動作文募集を行うことで、市民並びに子どもたちへの非行防止と犯罪を犯した人への理解を求める。	<ul style="list-style-type: none"> 社会を明るくする運動桜川市推進委員会の開催 警察署、保護司会、更生保護女性会等との連絡調整 のぼり旗設置 街頭キャンペーン

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
社会を明るくする運動桜川市推進委員会の開催 保護司会・更生保護女性会との連絡調整 のぼり旗設置 街頭キャンペーン	街頭キャンペーン実施回数	回	0.00	3.00	5.00	5.00	5.00
	作文募集依頼学校数	校	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市民	人口	人	37,653.00	36,794.00	36,647.00	36,500.00	35,897.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
犯罪や非行のない明るい社会を築くための意識向上を図る	啓発物を受け取った人数	人	3,840.00	3,996.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
	街頭キャンペーン参加者数	人	0.00	44.00	100.00	100.00	100.00
	作文応募件数	件	430.00	363.00	500.00	500.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	189	197	232	
		事業費計(A)	千円	189	197	232	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	197		10 需用費	232	
		合計	197		合計	232

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> 社会を明るくする運動桜川市推進委員会の開催 警察署、保護司会、更生保護女性会等との連絡調整 のぼり旗設置 街頭キャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> 社会を明るくする運動桜川市推進委員会の開催 警察署、保護司会、更生保護女性会等との連絡調整 のぼり旗設置 街頭キャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> 社会を明るくする運動桜川市推進委員会の開催 警察署、保護司会、更生保護女性会等との連絡調整 のぼり旗設置 街頭キャンペーン

事務事業名	社会を明るくする運動事業	事務事業No.	60201000440	所属課	市民課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 社会を明るくする運動は、昭和26年に始まり毎年開催されており、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。更生保護事業に対する地域社会の理解が促進され、保護司会などの意欲が高まり、活動が充実してきた。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 犯罪や非行の予防はもとより、そこから復帰する人たちが社会に復帰しやすい環境づくりを目的とした事業であり、人権の側面からも政策体系と結びついていると思われる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 法務省主催で、かつ総理大臣名で全国的に展開されている運動である。本市においても行政が中心となり各社会奉仕団体の賛同を得て推進委員会を組織している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 犯罪や非行をなくし、明るい社会を築いてもらうために必要な事業である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法務省主催で全国的に展開されている運動のため、廃止・休止は相応しくない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 各団体はボランティアで活動に参加してくれているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民が互いに明るい地域社会を呼びかけあうことを目的とした啓発運動であり、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	啓発事業として、のぼり旗の設置と市内小中学校と市内高校へのピラ・啓発品の配布、市内協力店舗等に啓発品の配架をして非接触啓発活動を行った。市が主体となり保護司会、更正保護女性会等の団体と協力して実施している「社会を明るくする運動」は、更生保護活動として重要な役割であり、今後も継続していかなければならない。																		
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>